

学力向上フロンティア事業中間報告書

都道府県名	福岡県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	行橋市立仲津小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	3	3	3	0	18	27
児童数	93	81	100	83	97	88	0	542	

研究の概要

1. 研究主題

『どの子ども生き生きと活動し、学び合う楽しさを味わう算数科学習』
～基礎・基本の定着と、算数的活動を工夫した授業づくりを通して～

2. 研究内容与方法

（1）実施学年・教科

1年生・算数
教科の基礎・基本の力を、低学年のうちにしっかり身につけさせるため。

3年生・算数
児童の理解の状況に差が出やすい教科・学年であるため

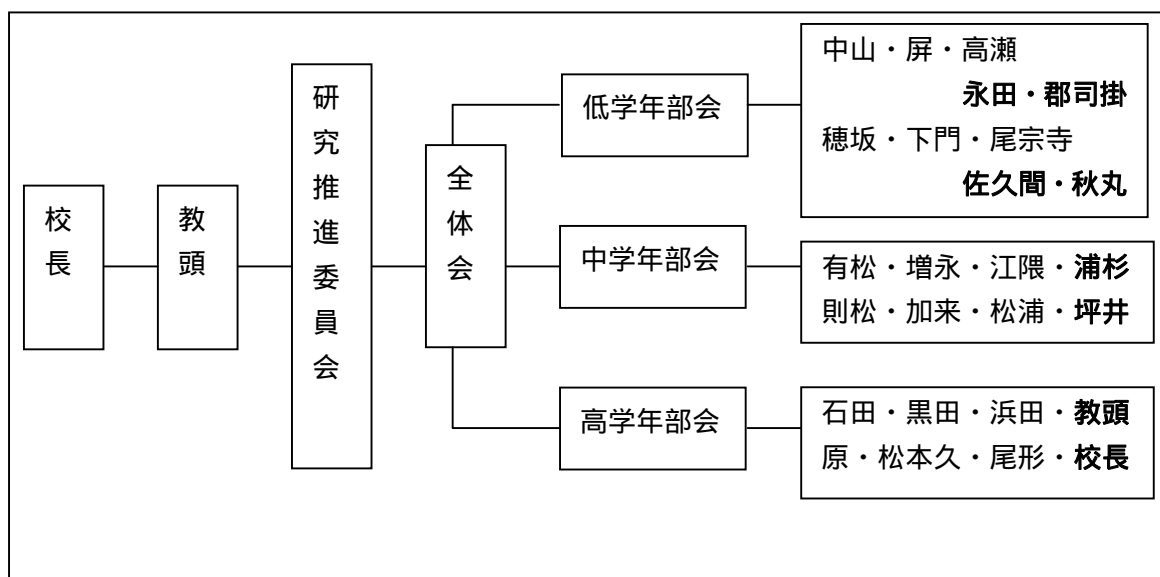
（2）年次ごとの計画

平成14年度	<p>研究テーマ 『子どもが生き生きと活動し、楽しさを味わう算数科学習』 ～算数的活動を重視した授業づくりを通して～</p> <p>仮説 次の3つの着眼点に配慮して授業づくりをすることにより、子どもたちは生き生きと活動し、楽しい算数科学習が体験できるであろう。</p> <p style="margin-left: 20px;">着眼（1）子どもが自ら問いを持つ導入の工夫</p> <p style="margin-left: 20px;">着眼（2）算数的活動の工夫</p> <p style="margin-left: 20px;">着眼（3）自分の考えを表現できる場の設定</p> <p>研究の内容・方法 算数的活動を重視した授業の実践を目指し、全学級で授業研究に取り組む。前年度に引き続き、少人数指導にも取り組む。</p>
--------	--

平成 15 年度	研究テーマ 『どの子ども生き生きと活動し、学び合う楽しさを味わう算数科学習』 ～基礎・基本の定着と、算数的活動を工夫した授業づくりを通して～
	仮説 新しく4つ目の着眼点を付加し、研究の深化を図る。 着眼(4)基礎・基本の定着を図る指導方法の工夫
	研究の内容・方法 * 2名の指導方法工夫改善教員を中心に、指導形態の工夫、評価の重点化、ステップタイムの取り組みを通して、基礎・基本の定着を図る。 * 担任外教員の学年担当を決め、どの学年にもTT指導や少人数指導ができるようにする。 * 算数科において、全学級で授業研究に取り組む。

平成 16 年度	研究テーマ	15年度どおり
	仮説	15年度どおり
	研究の内容・方法 フロンティアスクールとしての3年間のまとめとして学力向上フロンティア事業地区別実践交流会を2学期に(予定)実施する。	

(3) 研究推進体制



平成 15 年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

着眼 1 について

単元の導入に楽しいゲーム的な活動を取り入れるなど、単元構成の工夫をすることにより、意欲的に学習に取り組むことができた。

着眼 2 について

子どもの実態に合わせた適切な学習用具を準備して操作する活動を、TT 学習や少人数学習を取り入れて実施した。このことは、自力解決の困難な子どもやさらに新しい考えを導き出したい子どもたちにとって有効であった。

着眼 3 について

児童の実態から、自分の考えを持たせるためのワークシートを工夫し、操作活動した道具や発表カードを用いて発表させ効果が得られた。

着眼 4 について

指導形態の工夫、評価の重点化、ステップタイムの充実により、基礎・基本の定着を図ることができた。

2 学期末の表現・処理能力は、1 年が 95%、3 年が 92% に伸びていた。

2. 今後の課題

子どもたちの学習意欲を持続することができるような単元構成の工夫
自分の考えを自分の言葉で表現する力の育成 話し方のマニュアル作成
客観的に学力を把握するシステムの確立

学力等把握のための学校としての取り組み

児童の算数科における学習状況の把握と、研究成果を把握するため、教研式標準学力検査（CRT）を、学年はじめに実施。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

* 学力向上フロンティア事業地区別実践交流会

平成 15 年度 11 月 12 日（水） 行橋市立仲津小学校
研究成果の報告と普及のため

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】	15 年度からの新規校	レ	14 年度からの継続校	
【学校規模】	6 学級以下		7～12 学級	
	レ 13～18 学級		19～24 学級	
【指導体制】	レ 少人数指導		TT による指導	
	1 部教科担任制		その他	
【研究教科】	国語	社会	レ算数	レ理科
	生活	レ音楽	図画工作	家庭
	体育	その他		
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】		レ有	無	